

生産情報

農業振興課 小野 朋宣



○りんご作業（8/15～9/15）

管内のりんごの肥大は、8月1日現在でふじが63.8ミリと、昨年と比べ4日程早い生育となっております。

管内のりんご肥大状況（8月1日調査）

	湯 口	紙漕沢	相 馬	平 均	前年比	平年比
つがる	70.4	71.4	74.4	72.1	107.1%	110.1%
王 林	65.7	62.0	64.9	64.2	106.5%	109.2%
ふ じ	66.0	62.4	63.1	63.8	107.0%	110.0%

※単位は（mm）

○見直し摘果を行いましょ

品質向上に向けて、成りすぎとなつている部分の樹上選果を徹

底しましよ。

また、葉摘みの際でも果形が悪い果実は積極的に摘果し、適正着果に仕上げてください。

※黒星病の罹病果について

摘果した黒星病の罹病果は、来年の発生密度を増やさないためにも、摘み取った果実は、必ず園地内で焼却するか、土中に埋める等の処理を行ってください。

○適期収穫を目指しましょ

「つがる」や「きおつ」などの早生種では、晩生種と異なり熟度が揃いにくく、収穫適期の判断が難しいため、カラーチャートや各フルーツステーションに用意する収穫目安のサンプルを参考に適期収穫に努めてください。

9月に入り長雨が見込まれる場合には、無袋果のスズ斑病対策が必要になりますので、9月中旬をめぐりに特別散布を実施して下さい。ただし、前回との散布間隔が15日以上開いてしまう場合には、その前に散布して下さい。

なお、薬剤散布の際には、散布する薬剤の収穫前日数に十分注意して下さい。

○水稲

登熟期に入り、高温時には時々水の入替えを行い根腐れ防止に努め、低温時には深水にし登熟促進に努めて下さい。

カメムシ被害軽減のため、9月に入るまでは畦畔の草刈りは実施しないようにしてください。

薬剤の使用基準一覧

殺菌剤	収穫前基準	使用回数	殺虫剤	収穫前基準	使用回数
オーソサイド（水）	前日	6	サイハロン（水）	7日	3
ストライド（顆水）	前日	3	バイスロイドEW	7日	4
ベフラン（液）	前日	3	イカズチWDG	前日	2
			モスピラン（顆水）	前日	3
			ダントツ（水溶）	前日	3
			フェニックスF	前日	2
			サムコルフ	前日	3

散布計画

回数	散布量	散布時期	基準薬剤	希釈倍数	備 考
12	500 μ l	8月下旬	オーソサイド（水） ベフラン液剤 カルシウム剤	800倍 1,500倍	・ 8月下旬～9月に長雨が見込まれる場合は無袋果にすず斑病、すず点病の発生が見られるので、9月15日頃に効果のあるオーソサイド、ベフラン、ストライドを散布する。

りんご病虫害防除暦（第12回目・特別散布）※生態の早まりにより散布時期に若干のズレがあります。

直売所「林檎の森」

直売所 千葉翔平



いつも直売所「林檎の森」をご利用いただきありがとうございます。

現在、店頭では、木造地区産のスイカ「紅まくら」を販売しております。大玉は1800円、小玉は中玉は1600円とお買い得な価格です。7月3日から特設テントで開催されていたまくらぼまつりは7月13日をもって無事に終了しました。天候にも恵まれ大盛況で終わることが出来ました。今年は、例年より雨が少ない影響をつけて収量が少なかったのですが、良品なまくらぼまつりでした。会員の皆様には出荷して頂きありがとございました。来年も良品なまくらぼの生産をよろしく願います。梅は、例年より不作で数が少なく店頭は品薄な状態です。数に限りがございますので、お早めの購入をお願いします。

食堂では、チャーシュー丼弁当、焼き鳥弁当、照り焼き弁当を製造し、店内の惣菜コーナーで販売しております。フロンラインで買えて、

とても美味しい弁当です。こちらは数量限定となっております。午前中で売り切れるほどの大人気です。食堂特製の惣菜弁当を是非ご堪能してみてくださいいかがでしょうか。

そして、会員の皆様にご利用があります。たくさん野菜を出荷してくださり助かっておりますが、野菜が多くなる分古いものは売れ残りしやすくなります。鮮度が著しく低下したものは、引取りの徹底、その他商品の賞味期限の確認をよろしく願います。売り場にも限りがございますのでごまめに出荷して頂けたらありがたいです。今後忙しくなるお盆に向け、会員の皆様と一緒に頑張っていきたいと思っております。



大・小のスイカ（紅まくら）

いきいき女性部通信

農業振興課 女性部 堀井裕子



エルダーミセス会員22名は7月16日、夏期研修としてねぶたの家ワ・ラッセ、RABスタジオ見学、ゆーさ浅虫などに行ってきました。ねぶたの家ワ・ラッセでは、紙貼り体験やねぶた囃子の実演などが行われていました。昭和30年に作られていたねぶたもあり、今と大きさが色使いなども違い『昔、こつだったつけなあ』と懐かしむ声も聞こえました。

午後からは会員が楽しみにしていたRAB見学。「ZIPP!フライデー」や「ニュースリーダー」のスタジオ見学をし、天気予報の映像がどのように作られているのか、地震災害の移動中継車がいくらするのかなど話を聞いてきました。

RABラジオスタジオにも見学に行き、私達がお邪魔した時は、毎度おなじみ青山良平さん&田村啓美アナウンサーの『GO!GO!らじ丸』が生放送中であり、なんと！大黒谷部長の会話が生放送されました。青山さんから、「今年のりん

ごはどうですか？」と聞かれ大黒谷部長が「黒星病は少ないけど、ふけさめあつてさ。」と返答すると、急に発した津軽弁に笑い声が響きました。最後に、桑子英里アナウンサーに質疑応答コーナーがあり、良い体験をさせていただきました。参加者は、普段畑で聞いている黄金コンビの登場に目を輝かせていたほか、立佞武多の館は行った事あるけど、ワ・ラッセは初めて来たなど、とっても有意義な一日を送ることが出来ました。



桑子英里アナウンサー（1列目右から4人目）と記念に1枚

青年部通信

農業振興課
小野 朋宣



当農協青年部が7月10日、第54回通常総会を開催。部員が29名、来賓9名が出席した。

始めに、部長からのあいさつでは「部員のみなが沢山意見を出し合い、部として新しい活動をもっと取り組んでほしい」と次世代への期待を寄せていた。

議事では提出議案が全て可決されたほか今年度の役員改選に伴い、新役員が紹介された。新部長には前相馬地区の柴田康平さんが就任し、「新体制になった事に合わせて、新しい色を出せる青年部にしていきたい」と意気込みを述べた。最後には青年部から勇退する佐久間部長と前事務局に記念品が贈呈された。

新役員は、これまで歴史を作ってきた青年部を背負っていくのは大きな責任となるが、それ以上に素晴らしい成果と楽しみを沢山味わい、仲間と共有し地域の方々へ根ざした活動をしていけるようサポートして参ります。



近年では過去最多の出席数で迎える総会



部長として最後の挨拶をする佐久間部長

- 部 長 柴田 康平 (前相馬)
 - 副部長 宮川 貴彦 (藤沢)
 - // 成田 祐介 (紙漉沢)
 - 会 計 福田 耕正 (桐ノ木沢)
 - 役 員 大場 隼人 (紙漉沢)
 - 監 事 溝江 翼 (湯口)
 - // 福島 秀幸 (藤沢)
- ※ ●印は新役員



新役員の意気込み発表



新青年の歌を全員で歌い団結を深める

農協青年部令和元年度事業計画

- ① 未加入青年の加入促進
- ② 県ブロック交流会
- ③ 各種事業および親睦会
- ④ 各種事業への参加協力
- ⑤ ポリシーブック政策の取り組み、見直し
- ⑥ 育苗事業
- ⑦ もち米事業
- ⑧ 生産販売に関する学習
- ⑨ 県及び全青協主催事業への積極的参加